

補綴治療・インプラント治療におけるデジタルワークフロー Digital workflow for prosthodontic and implant therapy



Hisatomo Kondo
近藤 尚知

愛知学院大学歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座

口腔内スキャナーとCAD/CAMとのパッケージは、印象材と石膏模型を不要とすることによって、歯科医師・歯科技工士の待機時間を大きく短縮することを可能にし、歯冠補綴におけるOne Day Treatmentを現実のものとするに至った。そしてこの革命的な技術の導入によって起きた補綴治療におけるパラダイムシフトは、歯科医療の在り方さえも変えようとしている。インプラント治療においては、口腔内スキャナーは単なる補綴装置の印象採得に用いられるだけでなく、術前検査においても口腔内スキャナーでスキャンした画像データは、研究用模型に取って代わるものとなり、それに続く埋入手術のシミュレーション診断にも活用されている。上記のように、昨今は、補綴主導型インプラント治療のデジタルワークフローも確立されつつある。埋入手術後の補綴治療のステップにおいても口腔内スキャナーとCAD/CAMが活用されており、チタンやジルコニアを多用するインプラント治療においては、デジタルワークフローの活用は、より効率的な治療手技と言える。しかしながら、口腔内スキャナーも精度の点から万能というわけではなく、従来通りの印象採得とのハイブリッドで治療を進めたほうが効率的な治療手技もある。本講演においては、治療時間の短縮ならびに術者と患者双方のストレス軽減につながる口腔内スキャナーの効率的な活用法をエビデンス・ベースで紹介する。さらには、近年国内でも普及しつつあるダイナミックナビゲーションの活用法についても言及したい。

【略歴】

- 1993年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 1997年 東京医科歯科大学大学院 修了（歯学博士）
- 1997年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
- 1999年 ハーバード大学マサチューセッツ総合病院 研究員
- 2001年 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 助手
- 2009年 岩手医科大学歯学部口腔インプラント学科 准教授
岩手医科大学附属病院口腔インプラント科 診療部長
岩手医科大学附属病院スポーツ歯科外来 運営委員長
- 2012年 岩手医科大学 歯学部 補綴・インプラント学講座 主任教授
- 2023年 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座 主任教授
愛知学院大学歯学部附属病院 副病院長